

音響木材®



『音響熟成木材』として使用している南九州産の「杉」は、驚くほどの力を秘めています。木材の圧縮、引っ張り、曲げなどの強度性能は、法的には国土交通省によって「基準強度」として定められており、この値は、日本農林規格（JAS）で等級別で分けて値が出されています。等級区分された製品であれば、多くのグレードで「スギは強い」と言え、特に宮崎産のスギは、高い強度を誇っています。

また南九州産の「杉」は、昔からシロアリの被害を受けにくいことが知られています。宮崎杉（自然乾燥材／機械乾燥材）とホワイトウッド、アカマツ素材の杭を屋外に埋め込み、2年間その動向を調べてみると（※）、アカマツ、ホワイトウッドのシロアリ食害は大きく、逆に杉の食害は低いものでした。杉の耐蟻性は、乾燥条件にかかわらず、ホワイトウッドやアカマツより高いと言えます。また、カイケンコーポレーションの『音響熟成木材』は、「曲げ試験及び含水率試験」で、その高い性能が確認されています。

『音響熟成木材』の特徴

- 常温で音響熟成するため、木材の細胞が破壊されず、油分を多く含み、見た目も美しく、防菌作用に優れます。
- 保水性が高く、乾燥時に水分を放出し、風邪やインフルエンザの予防になります。
- 調湿性能がよくなり、結露防止や防カビ対策に役立ち、木材強度が増します。
- 保温性に優れ、体感温度が人肌に近く、一年中、素足の生活が楽しめます。



音響熟成®木材は「乾燥方法」が違います

② 製材する

柱や床材など、森から伐採された木は、用途によって様々な状態に製材されます。

① 森から木を切る

日本で使われる木材の七割以上は輸入材ですが、音響熟成木材の原木は国産材にこだわりの、南九州産の杉だけを使用します。

南九州産の杉だけ!

音響熟成による乾燥

「音響熟成」とは、クラシック音楽の流れる熟成庫でじっくりと常温乾燥させる、カイケンコーポレーション独自の乾燥法。音楽の波動で余分な水分だけを抜くので、木の細胞がいきいきしており、木が持つ本来の油分やエキスがたっぷり残って、使うほど味が出る木材に仕上がります。

ストレスがないからいきいき!

③ 乾燥させる

機械乾燥

高温で短時間に乾燥させる一般的な乾燥法。早く安くできますが、木がミイラ化し、本来の力をなくします。

天然乾燥

屋外でそのまま乾燥させる方法。時間がかかるので、コストもアップしてしまいます。

木の油分が豊富なので、キッチンなど水まわりも大丈夫!

この「乾燥」という過程が木材の質を左右する大事なポイントなんです